



S-Ship通信



●新潟大学医歯学総合病院
肝疾患相談センター 特任助教

荒生 祥尚

まずは知ってほしいこと

～肝炎ウイルス検査について～

肝疾患相談センターではB型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルスによる肝炎のみならず肝疾患全般のご相談を受け付けております。現在、B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルスによる肝炎は飲み薬でほぼ制御できる時代になっています。B型肝炎ウイルスは核酸アナログ製剤という薬を1日1回飲むことによりウイルスの増殖を抑えます。C型肝炎ウイルスは直接作用型抗ウイルス薬という、こちらも飲み薬を2か月間、もしくは3か月間飲むことによりウイルスをほぼ完全に排除できます。このように、B型・C型肝炎は早期に見つけることさえ出来れば、病気を克服できるのです。ただし、問題はどのようにして早期に見つけるか、ということです。診断するためには血液検査が必要ですが、条件を満たす人は県内の保健所および34病院で無料検査を受けられます(注1)。またお勤めの人であれば、職場の健康診断や人間ドッグのオプションで受けることが出来ます。皆さんが健診結果でよく目にする「AST」「ALT」「γ-GTP」は肝機能の検査項目ですので、それだけではウイルス性感染かどうかは分かりません。ウイルス性肝炎の検査は基本的には人生で1回受ければ、普通の生活をしている限りは2度受ける必要はありません。まだ受けたことがない人は、その検査が自分の健康をさらに強固なものにする可能性につながるのです。是非検査を受けることをお勧めします。



注1
(新潟県HPより)

検査は
これだけ

B型・C型肝炎ウイルスの
検査項目 → 採血1回!

- HBs抗原…現在B型肝炎ウイルスが存在しているか調べる検査。ウイルス粒子の蛋白を測定しています。陰性であれば再検査は必要ありません。陽性であれば、医療機関を受診し精査が必要です。
- HCV抗体…C型肝炎ウイルスに対して、体を守ろうとする働きの蛋白を測定しています。陰性であれば再検査は必要ありません。陽性の場合、現在感染しているか、もしくは治った後か、疑陽性(本当は陰性なのに、エラーで陽性と出ること)の可能性がります。



ア ミ ノ レ バ ン レ シ ピ



コーヒー牛乳



(1人前)

エネルギー/344kcal

たんぱく質/20.0g

水の代わりに牛乳で溶かすと
苦みと甘味をマイルドに



作り方はQR codeを参照 ▶

今後の予定

肝臓病教室 3月頃(会場開催は行わずHPで動画を公開予定)



相談は
こちら
まで

TEL: 025-223-6192 (10:00~16:00)

FAX: 025-223-6193

E-mail: liver@med.niigata-u.ac.jp

